

平成 29 年度 丹波地域経営プログラム

基本方針

誇りと希望を持てる“ふるさと丹波”の実現

丹波地域ビジョン「みんなで丹波の森」の目指す将来像の実現に向けて、人口対策・地域の元気づくりを柱とする地域創生の取組を着実に進めるとともに、様々な地域課題の解決を図るため、平成 29 年度は次の 4 つの重点目標を掲げ、各種施策を展開する。

丹波地域ビジョンの目指す 5 つの将来像

- ・みんなで創る“自立のたんば”
- ・都会に近い田舎を楽しむ“交流のたんば”
- ・やりがいを実感できる“元気なたんば”
- ・多世代が支え合う“絆のたんば”
- ・ともに暮らす“安全安心なたんば”

平成 29 年度 重点目標

I 働きたい暮らしたい ふるさと丹波

～UJIターンの促進と地元での雇用・就業～

都市部の若者や子育て世帯を対象として、丹波地域で元気に活躍する人材が丹波暮らしの魅力を直接伝え移住・環流を推進するとともに、住民主体の都市との交流や多世代での地域づくり及び起業を志す女性の活躍を支援する。

II 広めたい高めたい ふるさと丹波

～“丹波ブランド”の育成と活用による産業振興～

丹波地域のブランド農産物である黒大豆、山の芋、丹波大納言小豆、丹波栗の生産を拡大するため、小規模兼業から大規模専業までの多様な経営形態の生産体制の強化や企業等の新規参入を促進する。また、異業種との交流・連携や 6 次産業化の支援、味覚フェア等の開催により需要の拡大を図る。

III 伝えたい招きたい ふるさと丹波

～“丹波ファン”拡大による交流の促進～

恐竜・哺乳類化石等の発見地である篠山層群エリアを野外博物館として位置づける「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想」に基づき、地域住民等の参加拡大を図るとともに、地域の方で資源を活かしていく仕組みづくりを推進する。また、大丹波連携や観光情報発信により誘客を促す。

IV 守りたい支えたい ふるさと丹波

～丹波地域の安全安心の向上～

平成 26 年 8 月豪雨災害の経験と教訓の継承・発信と地域防災力の向上、介護予防や介護支援、感染症予防対策等の暮らしの安全安心の向上、若い世代をはじめ住民がふるさとに誇りと愛着を感じられる魅力ある地域づくりを推進する。

丹波県民局 施策体系・主要事業

【ふるさと事業】: 県民局事業(ふるさと創生推進事業)

I 働きたい暮らしたい ふるさと丹波 ～UJIターンの促進と地元での雇用・就業～

i UJIターンの促進による地域の元気づくり	
<ul style="list-style-type: none"> 新 ふるさと丹波元気アップ促進プロジェクト推進事業 4頁 (ふるさと事業) 	<ul style="list-style-type: none"> たんば移住・環流プロジェクト推進事業 たんば交流実践リーダー育成モデル事業 たんば多世代による地域運営モデル事業【新】 たんば女性の起業応援事業【新】
ii 地元での雇用・就業の促進と企業誘致	
雇用創出・産業立地連携推進事業	5頁 (ふるさと事業)
中小企業就業者確保支援事業	6頁 (全県事業)
ふるさと企業就職促進事業	6頁 (全県事業)
<ul style="list-style-type: none"> 拡 多自然地域におけるIT関連企業への振興 	6頁 (全県事業)
女性の就業サポート事業	7頁 (全県事業)
女性就業いきいき応援事業	7頁 (全県事業)
育児・介護等離職者再就職準備支援事業	7頁 (全県事業)

II 広めたい高めたい ふるさと丹波 ～“丹波ブランド”の育成と活用による産業振興～

i 丹波ブランド農産物の生産拡大戦略の推進	
<ul style="list-style-type: none"> 新 多様な担い手で支える特産物生産推進事業 8頁 (ふるさと事業) 	<ul style="list-style-type: none"> 丹波ブランド農産物生産拡大戦略推進事業【拡】 丹波ブランド農産物生産力強化支援事業【新】 生産安定化技術普及事業 企業等新規参入促進事業【新】 生産と需要とのマッチング支援事業【拡】 丹波ブランド農産物6次産業化支援事業 丹波大納言小豆の産地イメージ定着化促進事業
丹波栗の郷づくり推進事業	8頁 (ふるさと事業)
農業施設貸与事業	9頁 (全県事業)
農業人材の確保	9頁 (全県事業)
ii 丹波ブランドの発信と産業振興	
<ul style="list-style-type: none"> 拡 丹波すぐれもの顕彰事業 	9頁 (ふるさと事業)
丹波ブランド力強化推進事業	10頁 (ふるさと事業)
「丹(まごころ)の里」活性化推進事業	10頁 (ふるさと事業)

III 伝えたい招きたい ふるさと丹波 ～“丹波ファン”拡大による交流の促進～

i 丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの展開	
<ul style="list-style-type: none"> 拡 丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進事業 11頁 (ふるさと事業) 	<ul style="list-style-type: none"> 化石調査等を地域活性化に生かす仕組みづくり事業【拡】 シンボルマークを活用したフィールドミュージアム浸透強化事業【新】 次代を担う協働者と進める地域資源発掘・コンテンツ化事業【新】
ii 大丹波連携の推進、観光情報の発信	
大丹波観光推進事業	12頁 (ふるさと事業)
Webサイト「旅丹」活用事業	12頁 (ふるさと事業)
丹波地域観光情報発信事業	12頁 (ふるさと事業)
<ul style="list-style-type: none"> 拡 「丹波ファン」拡大チャレンジ事業 	12頁 (ふるさと事業)

iii 交流による地域活性化		
—	丹波地域ビジョン推進事業	13頁 (ふるさと事業)
—	拡 丹波ふるさとの森づくり事業	13頁 (ふるさと事業)
—	丹波ファン「ふるさとむら」活動支援事業	13頁 (ふるさと事業)
—	地域間交流を活発にする道路整備推進事業	13頁 (ふるさと事業)
—	JR福知山線利便性向上対策推進事業	13頁 (ふるさと事業)
—	学生等による地域貢献活動推進事業	14頁 (ふるさと事業)
—	関西学院大学柏原スタジオの運営支援事業	14頁 (ふるさと事業)
—	兵庫陶芸美術館 篠山方面直通バスの運行実験事業	14頁 (全県事業)

IV 守りたい支えたい ふるさと丹波 ～丹波地域の安全安心の向上～

i 災害に強い地域づくり		
—	防災情報活用研修等による地域防災力の充実強化事業	15頁 (ふるさと事業)
—	拡 ひょうご防災リーダー活動の推進	15頁 (全県事業)
—	拡 消防団活性化の支援	15頁 (全県事業)
—	総合防災訓練の実施	16頁 (全県事業)
—	兵庫県住宅再建共済制度の普及促進	16頁 (全県事業)
—	丹波の田んぼダム普及推進事業	16頁 (ふるさと事業)
—	平成26年8月丹波市豪雨災害復旧記念式典の開催	17頁 (全県事業)
—	新 平成26年8月豪雨災害からの復興推進支援事業	17頁 (ふるさと事業)
—	第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画の推進	17頁 (全県事業)
—	県民緑税を活用した災害に強い森づくりの推進	17頁 (全県事業)
ii 砂防防災フロンティアエリア（仮称）の整備		
—	新 復興砂防公園整備事業	18頁 (ふるさと事業)
iii 暮らしの安全安心の向上		
—	拡 住民主体の介護予防・介護支援推進事業	18頁 (ふるさと事業)
—	認知症疾患医療センターの運営	18頁 (全県事業)
—	地域を守れ！たんば感染症予防プロジェクト推進事業	18頁 (ふるさと事業)
—	地域医療を支える健康福祉ネットワーク推進事業	19頁 (ふるさと事業)
—	小児救急医療相談窓口の運営	19頁 (全県事業)
—	大学医学部への特別講座の設置	19頁 (全県事業)
—	県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編整備	19頁 (全県事業)
—	兵庫医科大学ささやま医療センターに対する総合的な支援	20頁 (全県事業)
—	たんばの消費者力向上推進事業	20頁 (ふるさと事業)
iv 魅力あるふるさとづくり		
—	新 丹波の森構想30周年記念事業	20頁 (ふるさと事業)
—	“ふるさと丹波”まちの自慢発信事業	20頁 (ふるさと事業)
—	不法投棄をさせない！きれいな丹波づくり推進事業	21頁 (ふるさと事業)
—	丹波の環境パートナーシップづくり事業	21頁 (ふるさと事業)
—	シカ捕獲総合対策の実施	21頁 (全県事業)
—	鳥獣被害の防止対策に取り組む市町への支援	21頁 (全県事業)
—	交流促進パワーアップ事業	22頁 (ふるさと事業)
—	丹波の森若者塾	22頁 (ふるさと事業)
—	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」支援事業	22頁 (ふるさと事業)
—	多自然地域の再生	22頁 (全県事業)

I 働きたい暮らしたい ふるさと丹波 ～UJIターンの促進と地元での雇用・就業～

i UJIターンの促進による地域の元気づくり

1 **新** ふるさと丹波元気アップ促進プロジェクト推進事業 9,000千円〔県民交流室〕

高齢化、人口減少に対応するため、都市部に近く、豊かな自然の中で暮らせる丹波地域の特長を活かし、①移住・環流(※)の促進、②住民主体の都市との交流、③多世代での地域づくり及び④女性の起業支援に総合的に取り組み、丹波地域の地域力の向上を図る。 ※環流：ライフサイクルの子育て期間中に丹波地域に来て暮らすこと

(1) たんば移住・環流プロジェクト推進事業

(ア) 「たんば暮らしファン交流ステーション」による移住・環流の促進

丹波地域で元気に活躍する人材が、都市部の若者や子育て世帯と、直接語り合う機会を増やし、相互に顔の見える関係・ネットワークを拡大する。

- ① 「たんば元気人材バンク」の拡充
- ② 「たんば暮らしセミナー」の開催〔大阪、東京等〕
- ③ 「たんば暮らしファン交流カフェ」の開催〔大阪、東京等〕
- ④ ソーシャルメディア等を活用した「たんば暮らしファンNET」の拡大

(イ) 「たんば移住・環流促進連絡会」の運営

移住等の支援に関わる民間団体、公的機関、行政等の関係者のネットワークの拡大を図る。

(2) たんば交流実践リーダー育成モデル事業

丹波地域の住民本位の主体的・計画的・継続的な「都市との交流」等を展開できるように、地区等において住民の育成・指導を行うリーダーを育成する「たんば交流実践リーダー育成モデル事業」を実施する。

(ア) ワークショップの開催（年2回）

県民交流広場実施団体の構成員及び都市居住者によるワークショップを開催し、都市との交流の新たな展開方向の検討と、新たな交流のきっかけづくりを行う。

(イ) まちづくり交流会の開催

上記アのワークショップの取組やまちづくりに係る好事例の発表と意見交換を行い、丹波地域の課題解決に係るノウハウの共有、地域間の交流を促進する。

(3) たんば多世代による地域運営モデル事業【新規】

地域課題の共有及びふるさと意識の醸成に資するため、高校生、親世代、移住者等の多世代で継続実施する地域運営プランを構築するモデル事業を実施する。

対象：まちづくり協議会

(ア) ワークショップの開催

移住者を含む多世代が参加して地域の実情を学び、多世代で企画・実施する地域運営プランを検討する。

(イ) 地域運営プランの試行

専門家の助言を得ながら、同プランの実施に係る多世代の住民の意見交換及び効果的な情報発信の方法等を検討し、同プランの試行を行う。

(4) たんば女性の起業応援事業【新規】

子育て中や丹波地域への移住希望の女性等の丹波地域での起業支援に取り組み、女性の活躍を応援する。

(ア) ビジネスプラン指南塾

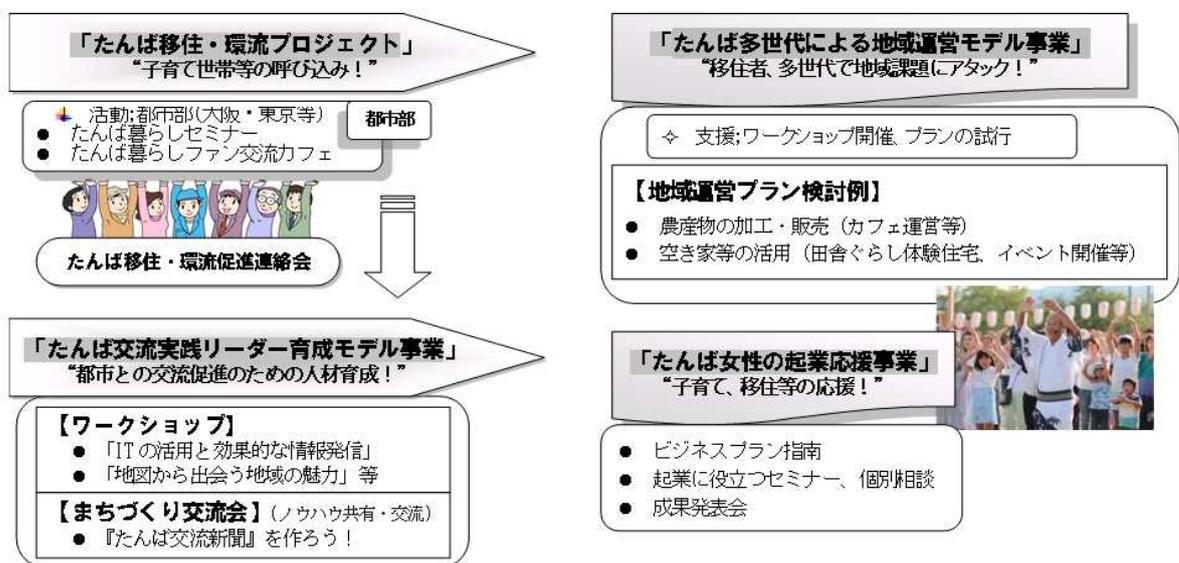
専門家講師が指導するビジネスプラン指南塾を開講し、自ら事業を立ち上げ、継続していくために必要となる、実践的で実現可能性の高いビジネスプラン案の作成とノウハウ・情報が得られるプログラムを提供する。

(イ) 塾生のための個別相談

ビジネスプラン作成指南等を受けた塾生に対して、事業立ち上げ等に関する質問や悩み等に対応し、モチベーションの維持、事業の円滑な立ち上げ・推進に資する専門家による個別相談を行う。

(ウ) 成果発表・交流会

塾生等が作成したビジネスプラン案を発表し、専門家や他の塾生等の意見を聞く機会を設け、より実践性と実現可能性が高いビジネスプランの構築に資するとともに、将来のビジネスパートナー候補等との交流を広げる成果発表・交流会を開催する。



ii 地元での雇用・就業の促進と企業誘致

1 雇用創出・産業立地連携推進事業

582 千円〔県民交流室〕

若者の地域定着や UJI ターンの促進等により人材を確保し、地域の更なる活性化を図るため、丹波県民局、柏原公共職業安定所、篠山市、丹波市、篠山市商工会、丹波市商工会、丹波雇用開発協会、管内 6 高等学校で構成する「丹波地域人材確保協議会」において、構成団体相互の連携を推進し、喫緊の課題である若者等の人材確保の取組を更に進めるとともに、産業立地促進方策との連携を高め、事業効果の増進を図る。

(1) 若者と地元企業のマッチング応援事業

内 容	事業名	主な対象者	開催時期
地元就職の支援	就職フェア in たんば	大学等卒業予定者	6 月
		UJI ターン就職希望者	8 月、1 月
	企業紹介フェア	大学等卒業予定者	3 月
将来の就職に向けた地元企業の紹介	高校生対象企業紹介セミナー (篠山市内、丹波市内)	高校生及び保護者	5 月
	丹波地域の企業と大学等 との就職情報交換会	大学等キャリアセンター職員	1 月

(2) 人材確保に向けた検討

- 雇用情勢や産業立地に係る研修会の開催
- 人材確保協議会の構成員間の意見交換会

(3) 企業誘致プロモーション

- 企業誘致機関への工場適地情報等の提供
- 両市との企業誘致等に係る情報交換
- 首都圏や京阪神等で開催される行事やイベントを活用した工場適地情報の発信

◆ 中小企業就業者確保支援事業 〔産業労働部・全県事業〕

県内中小企業の人材確保と若者の県内就職及び定着を支援するため、従業員の奨学金返済負担軽減制度を設ける県内中小企業に対して、県がその負担額の一部を補助する。

- 対象企業：従業員の奨学金返済負担軽減制度を有する県内中小企業
- 対象者：県内中小企業に勤務し、次のいずれの条件も満たす者
 - ・正社員である者
 - ・日本学生支援機構の奨学金を受給し、返済義務のある者
 - ・申請時点で当該企業に就職後3年以内の者
 - ・申請時点で県内事業所に勤務する者
 - ・30歳未満の者
- 補助期間：対象従業員1人につき、最大3カ年
- 補助金額：年間返済額の1/3（上限60千円）

◆ ふるさと企業就職促進事業 〔産業労働部・全県事業〕

(1) 面接旅費助成

新規学卒者、UJIターン就職希望者の面接選考時に旅費を支給する中小企業にその半額を助成する。

- 対象企業：丹波地域等に本社を置く中小企業
- 対象者：新規学卒者、UJIターン就職希望者（対象地域外に居住し、採用予定時に45歳未満の者）
- 補助額：中小企業主が負担した面接旅費の1/2以内

(2) 転居費用助成

県外からUターン就職希望者を採用する中小企業に対し、負担した転居費用の半額を助成する。

- 対象企業：丹波地域等に本社を置く中小企業
- 対象者：県外から転居し、正社員として採用された45歳未満のUJIターン就職者
- 補助額：中小企業主が負担した額の1/2以内
（上限：単身者50千円、家族を伴う者200千円）

◆ 拡 多自然地域におけるIT関連企業への振興 〔産業労働部・全県事業〕

県内に整備された超高速・高速通信ネットワークを活用し、多自然地域にIT関連の事業所を開設する事業者に対し助成を行う。

- 対象地域：丹波地域、但馬地域、淡路地域 等
- 補助対象事業：
 - ・IT技術を活用した製品・ソフトウェア・コンテンツなどの開発
 - ・インターネットビジネス（ネット通販）などのサービス関連事業
 - ・コワーキングスペースの開設

- ◆ **女性の就業サポート事業** 〔産業労働部・全県事業〕
 再就業を希望する女性を支援するため、個別相談やハローワークと連携した職業紹介等を県立男女共同参画センターの女性就業相談室で実施する。
- チャレンジ相談（96回）
 - 出前チャレンジ相談（100回）
 - 女性のためのステップアップセミナー（3回）
 - 女性リーダー登用促進研修会（3回）
 - 多様な働き方応援シンポジウム（1回）
 - 職業相談、職業紹介事業の実施
- ◆ **女性就業いきいき応援事業** 〔企画県民部・全県事業〕
 出産、育児などの理由で離職した女性の多様な働き方を支援するため、再就業・起業のためのセミナーを県立男女共同参画センターで実施する。
- 再就業応援セミナー（日数 1日、短期（3日）、中期（5日）、長期（15日））
 - 起業応援セミナー（起業セミナー（5日間）、在宅ワークセミナー（1日）、営業準備セミナー（3日間））
- ◆ **育児・介護等離職者再就職準備支援事業** 〔産業労働部・全県事業〕
 育児、介護等様々な理由により離職した者等の就職を支援するため、就職に必要な知識・スキルを習得するため受講した教育訓練経費の一部を助成する。
- 対象者：次のいずれの条件も満たす者
 - 国教育訓練給付金の受給資格がない県内在住者
 - 65歳未満の者
 - 県内事業所での就職を希望している者
 - 指定教育訓練を受講・修了している者
 - 女性就業相談室において、就職のための教育訓練の受講が必要である確認を受けた者
 - 補助金額：教育訓練に要した経費の20%（上限100千円）
 - 補助件数：200件
 - 実施場所：県立男女共同参画センター

Ⅱ 広めたい高めたい ふるさと丹波 ～“丹波ブランド”の育成と活用による産業振興～

ⅰ 丹波ブランド農産物の生産拡大戦略の推進

1 **新** 多様な担い手で支える特産物生産振興事業

25,047 千円〔丹波農林振興事務所〕

黒大豆など水田を利用した特産物の生産を拡大していくため、小規模兼業から大規模専業までの多様な生産者の参画の下で各々の経営形態に応じた生産体制の強化と、異業種交流・連携を通じた需要の拡大・創造を図る。

(1) 丹波ブランド農産物生産拡大戦略推進事業【拡充】

(ア) 丹波大納言小豆ブランド戦略の推進

県民局、丹波市、JA 丹波ひかみ、市商工会、市観光協会、生産者代表等で構成する丹波大納言小豆ブランド戦略会議により推進を図る。

(イ) 篠山ブランド産品戦略の推進

県民局、篠山市、JA 丹波ささやま、生産者代表等で構成する篠山ブランド産品戦略会議(仮称)による丹波黒大豆枝豆、山の芋のブランド戦略を推進する。

(2) 丹波ブランド農産物生産力強化支援事業【新規】

収穫や選別等、大きな労力を要する作業の省力化を進めるため、専業農家・集落営農・兼業農家など生産者の経営形態に応じて、必要な機械・施設の導入に係る経費の一部を補助する。

(3) 生産安定化技術普及事業

天候の影響を受けやすい大納言小豆の生産安定化を進めるため、現地に模範的な栽培技術の実証ほ場を設け、技術の有効性を生産者に示す。

(4) 企業等新規参入促進事業【新規】

企業等の農業参入を具体的に進め、農産物の生産拡大に取り組み、丹波地域内の農業分野の雇用創出が図られるよう推進する。

(5) 生産と需要とのマッチング支援事業【拡充】

異業種との交流・連携による需要を拡大・創造するため、JA 等生産者団体と圏域内外の小売・食品製造業等が参加する商品開発セミナーや勉強会を実施する。

(6) 丹波ブランド農産物 6 次産業化支援事業

農業の 6 次産業化を進めるため、売れる商品づくりセミナー受講者に対し「フォローアップ」を行い、アグリビジネス意欲の向上と販路開拓を目指す商品づくりに誘導する。

(7) 丹波大納言小豆の産地イメージ定着化促進事業

丹波市が丹波大納言小豆の主産地であることを PR することで名産地のイメージを定着させ、丹波大納言小豆ブランドの“見える化”を図るため、市内飲食店等の参加による「ぜんざいフェア」の開催を支援する。



山の芋の定植

2 丹波栗の郷づくり推進事業

6,994 千円〔丹波農林振興事務所〕

丹波地域の観光資源でもある丹波栗の産地再生を目指し、丹波栗再生戦略の第 3 期対策として、栽培面積 200ha 実現に向けて栗園の拡大を進めるとともに、需要拡大に向けて一次加工品や加工食品の開発・製造・販売を促進する。また、食べ歩きフェアの実施等により丹波地域の観光資源としての魅力向上を図る。

(1) 丹波栗再生戦略推進事業

県民局、市、JA、生産者等で構成する丹波栗再生戦略会議において、生産から加工、販売、情報発信までの方策を検討、推進する。



栗園の拡大

(2) 生産体制強化支援事業

既存農家の規模拡大を支援するとともに、後継者不在等の理由から貸し出し希望のある農地を新たな栗園として設定し、暗渠排水等を整備して、地域の営農組織や農業参入希望企業等への貸付を推進する。

(3) 異業種連携等による需要拡大事業

異業種ネットワークを活用し、生産者と多様な分野の実需者とのマッチングを推進する。

(4) 丹波栗情報発信事業

丹波地域の観光資源としての定着を図るため、丹波栗食べ歩きフェア等の開催を支援するとともに、丹波栗ファン拡大のための意見交換会を実施する。

◆ 農業施設貸与事業

〔農政環境部・全県事業〕

新規就農者等が施設園芸を営むには多額の初期投資が必要となることから、市町、JA等が整備のうえ、新規就農者等に貸与するために必要な経費を支援する。

◆ 農業人材の確保

〔農政環境部・全県事業〕

農業従事者の高齢化や担い手不足が深刻化していることから、新規就農希望者への支援等を充実することにより、次代の農業を担う人材の育成・確保を図る。

- 新規就農駅前講座の開催
- 青年就農給付金の活用促進
- 就農スタートアップ支援の実施

ii 丹波ブランドの発信と産業振興

1 〔拡〕 丹波すぐれもの顕彰事業

630 千円〔県民交流室〕

丹波地域におけるものづくり産業の製造技術水準の向上と、優れた製品・商品の地域内外への普及・浸透を図るため、「丹波すぐれもの大賞」を授与し、地域のすぐれた製品等を顕彰する。

また、モノからコトへの消費行動の多様化に対応し、地域資源の活用にかかる新部門を設置し丹波地域の魅力アピールの強化につなげる。

(1) 選考部門

- きらめき部門：産業及びビジネスの場で活用される製品や商品
- わくわく部門：丹波地域の特色を活かした独創的で優れた品質の食料品類
- ときめき部門：地域資源を新たな工夫で活用している事業や施設

(2) 選考・表彰

「丹波すぐれもの大賞審査委員会」において選考し、県民局長が表彰する。

(3) 広報等

- 県民局ホームページや広報誌等でのPR
- 受賞製品等を紹介したリーフレットの作成
- 「丹波ファン」拡大チャレンジ事業に丹波すぐれもの大賞受賞者向け枠を設定

2 丹波ブランド力強化推進事業

1,390千円〔丹波農林振興事務所〕

京都府中丹・南丹広域振興局、管内各市、JA、商工会、観光協会などと連携して丹波ブランド力の強化に向けた取組を推進するとともに、兵庫丹波地域の魅力をより発信させる取組を行う。

(1) 兵庫丹波味覚フェアの開催

兵庫丹波の食、観光等地域の魅力を発信し、丹波ファンの拡大、誘客拡大を図る。

- ・開催予定地：阪神百貨店梅田本店
- ・開催時期等：平成29年10月

(2) 大丹波農林ブランド強化推進連絡会議の開催

生産状況の共有、ブランド力強化に向けた供給量の確保、品質向上対策の検討や丹波栗の知的財産登録などを視野に関係者会議を開催する。

(3) 丹波栗広域品評会・生産者交流会の開催

兵庫丹波と京都丹波が連携して「丹波栗」の生産量の拡大、栽培管理技術の向上等を図るため、丹波栗の第1回大丹波連携広域品評会（最高賞は農林水産大臣賞を予定）を開催する。

- ・開催予定地：丹波市内(予定)
- ・開催時期等：平成29年10月6日(金)



味覚フェア

3 「丹（まごころ）の里」活性化推進事業

1,000千円〔丹波農林振興事務所〕

丹波市、JA 丹波ひかみ、丹波県民局等が連携して‘丹の里・丹波市「秋の味覚フェア」’を開催することにより、丹波市の魅力ある農林産物を来丹者にPRし、丹波市のイベントとして定着を図り、丹波地域の農林業の活性化に取り組む。

(1) 丹^{まごころ}の里・丹波市「秋の味覚フェア」の開催

- ・開催時期：平成29年10月下旬（予定）
- ・主催：丹の里・丹波市「秋の味覚フェア」実行委員会

(2) ホームページによる情報発信

丹波市の「農・森・人」に焦点を当て、魅力ある農林産物や生産者の情報等を発信する。



秋の味覚フェア

Ⅲ 伝えたい招きたい ふるさと丹波 ～“丹波ファン”拡大による交流の促進～

ⅰ 丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの展開

- 1 **【拡】** 丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進事業 29,100千円〔県民交流室〕
恐竜・哺乳類化石等の発見地である篠山層群エリアを野外博物館として位置づけ、エリア内の施設や自然資源を活用して地域活性化を図る「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想」に基づき、地域住民等の参加拡大を図るとともに、地域の力で資源を活かしていく仕組みづくりをさらに推進する。

(1) 化石調査等を地域活性化に生かす仕組みづくり事業【拡充】

(ア) 市民参加型化石調査等の推進

太古の生きもの館や元気村かみくげ等を拠点に、市民参加型化石調査の体制を構築するとともに、活動推進人材を育成し、調査等を推進する。

(イ) 地域の様々な主体とともに進める体制整備

- 体験型ツアーの実施
- 環境学習の実施
- 事務局の運営支援

(2) シンボルマークを活用したフィールドミュージアム浸透強化事業【新規】

(ア) シンボルマーク活用検討委員会の設置

野外博物館の統一感を演出するため、総合案内看板のデザインを設定するとともに、ガイドマップ等へのデザイン利用促進のため、デザインマニュアルを策定する。

(イ) 景観に配慮した総合案内看板の整備

フィールドミュージアム全体を解説した総合案内看板を整備し周遊を促進する。

(ウ) フィールドミュージアム道路標識等整備

各施設へのアクセス情報向上等のため、道路標識等の表示を充実する。また、川代溪谷沿道の桜のてんぐす病対策を講じ、その景観保全を進める。

(エ) 野外展示物を解説するコンテンツの作成

野外展示物の観光面・学術面での価値を向上させ、来訪者の興味関心を喚起する。

(オ) ミュージアムスポット毎に設置する表示板の作成・配布

飲食店、宿泊施設、社寺等に表示板を配付し、訪問者にアピールする。

(3) 次代を担う協働者と進める地域資源発掘・コンテンツ化事業【新規】

(ア) 大学生と進めるフィールドミュージアム名所百景の選定

大学生グループと連携し「フィールドミュージアム名所百景」を選定し、映像や説明文等のコンテンツを整備する。

(イ) 高校生と進める暮らし聞き書き調査の実施

地域の高校生と連携し、地域情報や地域資源を発掘・記録する聞き書き調査を実施し、映像や説明文等のコンテンツを整備する。

(ウ) 高校生化石調査隊による化石調査

地域の高校と連携して、川代トンネル岩砕を活用した化石調査等を実施する。

(エ) 大地と暮らしの博覧会実施計画の策定

フィールドミュージアム名所百景や大地と暮らしの聞き書きなどの打ち出し方をワークショップ「やってみよう会議」において検討する。



シンボルマーク

ii 大丹波連携の推進、観光情報の発信

1 大丹波観光推進事業 1,867千円〔県民交流室〕

京都府と兵庫県にまたがる大丹波地域（2府県、6市1町）が、府県の枠を超えて連携した取組を更に進め、地域の更なる一体感の醸成と観光客の周遊を促進する。

(1) 観光情報の全国発信

- 中京圏でのキャンペーンの実施
- 大丹波ドライブマップの配付
- 東京兵庫県人会でのPR
- 大丹波ホームページ、フェイスブックの運営・内容充実

(2) 関西圏からの誘客促進

- 農林部門と連携したキャンペーンの実施
- 大丹波観光サポーターへの情報提供

(3) 域内交流促進による連携強化

- 地域内の観光案内所等における「大丹波」パンフレット配架コーナーの開設

2 Webサイト「旅丹」活用事業 2,491千円〔県民交流室〕

丹波地域の自然、様々なイベント、人々を撮影したWeb写真集「旅丹～旅人が見たありのままの丹波路」の構築に広く県民・市民に参画を得るなどして、地域の魅力をさらに発信し誘客促進を図る。

(1) フォトコンテスト「あなたの見たありのままの丹波路」の開催

カメラ愛好家向けに、フォトコンテストを開催し、入選作品をWebページに掲載するとともに、撮影者に賞品を贈呈する。

(2) 追加撮影

新撮を行い、掲載写真の充実を図る。



第1回フォトコンテスト最優秀賞
「丹波竜と遊ぶ」

3 丹波地域観光情報発信事業 3,046千円〔県民交流室〕

丹波地域の四季折々の観光情報を様々な媒体により発信し、丹波地域の認知度をさらに高め、誘客促進を図る。

(1) JR西日本情報誌「西Navi」への記事掲載

- 購入紙面：2ページ
- 配付窓口：JR西日本各駅

(2) 観光情報リーフレット「ぶらり丹波路」の発行

- 作成部数：各15,000部
- 配布時期：4回発行（四半期ごと）
- 配布窓口：各市観光協会、観光関連施設等

(3) ホームページ「兵庫丹波グリーンツーリズムガイド～もりびとに、なろう～」の運営

(4) 北近畿エリアと連携した観光情報の発信

4 拡 「丹波ファン」拡大チャレンジ事業 4,250千円〔県民交流室〕

丹波地域の新たな魅力の発見・発掘や、既存の地域資源の新たな活用を通じ「丹波ファン」の拡大に向けて、より斬新性、創造性、チャレンジ性のある事業・取組を支援する。

- 事業主体：兵庫県内で活動する事業者及び団体
- 事業・取組：
 - ① ツーリズム振興・交流促進を図る取り組み
 - ② 丹波地域の農産物・加工品の販路拡大を図る取り組み
 - ③ 大丹波連携の推進
 - ④ 「丹波すぐれもの大賞」の受賞者が当該製品等を活用し地域振興を図る取組

- 補助額：補助対象経費の2/3以内（過去に当該補助を受けた場合は1/2以内）
- 予定件数：4件程度

iii 交流による地域活性化

1 丹波地域ビジョン推進事業 1,975千円〔県民交流室〕

丹波地域ビジョン「みんなで丹波の森」の周知を図るとともに、地域課題に対応した丹波地域ビジョン委員会の自主的な活動を支援することにより、ビジョンに掲げる将来像実現のための取組を推進する。

(1) ビジョン実現に向けた実践活動の推進

(2) ビジョン委員交流会の開催

ビジョン委員会の実践活動グループが横のつながりを持ち、ビジョン委員会全体活動の活性化を図り、地域の各種団体との連携を深めるための交流会を開催する。

(3) 丹波地域ビジョン委員会情報誌の発行（年2回）

2 拓 丹波ふるさとの森づくり事業 3,400千円〔丹波農林振興事務所〕

地域にある森林資源の実情に応じて地域住民、実需者等が主体となって取り組む森づくり活動やNPO法人が主体となって実施している木の駅プロジェクトを支援し、森林所有者の山に対する意識の醸成を図る。

(1) 提案型木の駅プロジェクト実証事業

今後必要とされる課題（安全対策の充実、用途開発など）について、管内の2NPO法人からの提案を受け、実証事業を実施する。

(2) 森づくり活動の実施

- 植樹、間伐、枯損木の伐採等の森林整備
- 交流活動等

3 丹波ファン「ふるさとむら」活動支援事業

丹波県民局管内で多く取り組まれている都市農村交流活動について、今後の活動の処方箋（行動計画）作りを通じて再活性化し、丹波ファンの呼び込みを拡大する。

(1) 「ふるさとむら行動計画」の実践支援

ワークショップで検討された取組地区ごとの新たな「ふるさとむら行動計画」に基づき行われる集落の実践活動を支援する。

(2) 実践活動報告会開催

行動計画の改善点などをワークショップ形式で議論する。

500千円〔篠山土地改良事務所〕



「ふるさとむら」の活動

4 地域間交流を活発にする道路整備推進事業 35,000千円〔丹波土木事務所〕

隣接する他地域との境界付近の道路狭隘区域を改善し、地域間交流を促進する。

- 主要地方道三田後川上線（篠山市後川下）

5 JR福知山線利便性向上対策推進事業 1,500千円〔丹波土木事務所〕

JR福知山線は、定住化の促進、交流の活発化など今後の地域づくりに必要不可欠な社会基盤であることから、県、市、鉄道事業者等が連携し、利便性向上対策を推進する。

(1) 地域でのマイレールウェイ意識の醸成、鉄道利用促進活動の実施

毎月22日の「たんば鉄道の日」の浸透・定着を図るため、ミニSLイベント（秋季：1回）などを実施する。

(2) 地域外に向けた鉄道利用促進活動の実施

観光シーズン等に丹波県民局管内の駅を起点・終点とした周遊バスの運行（秋季：3回程度）などを実施する。

6 学生等による地域貢献活動推進事業

1,460千円〔丹波土木事務所〕

学生等の活力や知恵、経験等を活かした取り組みによる地域の活性化を推進するため、丹波地域で大学のフィールドワークに参加した経験のある学生や丹波地域で地域貢献活動を希望する学生などが、地域と連携して実施する自主的な地域貢献活動を支援する。

(1) 学生団体への活動費の支援

- 対象団体：大学生等5人以上のグループ
- 対象活動例：
 - ・地域活性化のためのイベント
 - ・外国人対象の観光ツアー
 - ・中心市街地活性化に向けた提案・実践
 - ・地域の祭りの神輿担ぎ 等
- 補助額：1団体あたり20万円以内
(県1/2 市1/2)
- 予定件数：8団体



(2) 「丹波地域大学連携フォーラム」の実施

学生団体と地域団体による地域貢献活動

7 関西学院大学柏原スタジオの運営支援事業

1,000千円〔丹波土木事務所〕

平成28年3月に認定された丹波市中心市街地活性化基本計画（第2期）に基づき、柏原地域の活性化を推進するため、関西学院大学が㈱まちづくり柏原や丹波市、商工会、観光協会等と連携して行う地域の活性化に対する取組を支援する。

- 活動主体：関西学院大学総合政策学部、法学部
- 活動拠点：関西学院大学柏原スタジオ（丹波市柏原町柏原16-2）
- 活動内容：
 - ・フィールドワークによる地域の実態調査、地域住民との交流
 - ・活性化方策の実践と提案

◆ 兵庫陶芸美術館 篠山方面直通バスの運行実験事業

〔企画県民部・全県事業〕

篠山市街地からJR篠山口駅を経由し、陶芸美術館を結ぶ直通バスを運行することにより、利便性の向上と篠山市内を巡る周遊観光を促進する。

- ルート：篠山市街地～JR篠山口駅～陶芸美術館
- 運行日：計45日間（15便/日）※4、5、9、10、11月の土・日・祝

IV 守りたい支えたい ふるさと丹波

～丹波地域の安全安心の向上～

i 災害に強い地域づくり

1 防災情報活用研修等による地域防災力の充実強化事業 1,510千円〔県民交流室〕

平成26年8月豪雨災害の経験を踏まえ、災害時に地域住民が自らの判断で適切な避難行動をとるため、インターネット上の防災情報の活用研修を開催する。また、阪神・淡路大震災の経験と教訓を子どもたちに継承する。

(1) 防災情報活用推進事業

- ・ 内容：インターネットを活用した防災情報研修、防災講演会

- ・ 参加者：自主防災組織役員等

(2) 「1.17は忘れない」地域防災訓練等推進事業

- ・ 時期：平成30年1月

- ・ 場所：篠山市内

- ・ 内容：

- ・ 自主防災組織等の地域住民が主体となる防災訓練・研修会
- ・ ひょうご安全の日」地域のつどい



防災情報研修会

◆ 拡 ひょうご防災リーダー活動の推進 〔企画県民部・全県事業〕

地域や企業の防災の担い手として活動する人材を育成するため、防災に関する知識や技術を習得するための講座等を実施する。

(1) ひょうご防災リーダー講座

- ・ 対象：自主防災組織のリーダー、消防団OB等
- ・ 開催場所：県広域防災センター
- ・ 講座内容：災害のメカニズム、図上訓練、心肺蘇生法等

(2) フォローアップ研修

地域の防災リーダーの継続的な活動を支援するため、定期的なフォローアップ研修を実施する。

- ・ 実施場所：県広域防災センター（200人）
丹波、中播磨、西播磨、但馬、淡路地域（50人×5地域）

(3) ひょうご防災リーダー活動推進チャレンジ事業

市町が防災リーダーを登用して行う自主防災組織への訓練指導・助言に必要な資機材を整備し、無償で貸与する。

◆ 拡 消防団活性化の支援 〔企画県民部・全県事業〕

市町や県消防協会と協働し、消防団活動の充実強化に向けた取組を支援する。

(1) 消防団活性化支援事業

消防団が自主防災組織等と連携して行う実践的な訓練や研修を支援する。

- ・ 実施主体：市町
- ・ 補助対象：訓練等の開催経費、必要資材
- ・ 補助額：1消防団当たり50千円
- ・ 補助率：県1/2、市町1/2
- ・ 予定件数：62件

(2) 企業等連携機能別消防分団指導促進事業

平日昼間や大規模災害時における消防力の維持・確保を図るため、企業の自衛消防組織等を市町の消防分団とする取組や消防職・団員OB又は大学生等の機能別団員への採用を支援する。

- 実施主体：市町
- 補助対象：安全装備品、訓練機器 等
- 補助額：500 千円（定額）
- 予定件数：4 件

(3) 消防活動支援隊導入促進事業

昼間の消防力の低下や大規模災害等の発生に備えるため、市町の消防防災活動を支援する専門ボランティア組織の設置・拡充に要する経費を支援する。

- 実施主体：市町
- 補助対象：隊員装備品購入費
- 補助額：1 人当たり 5 千円（上限）
- 補助率：県 1/2、市町 1/2
- 予定件数：4 件

◆ 総合防災訓練の実施 〔企画県民部・全県事業〕

県民の防災意識の更なる高揚を図り、地域防災力の向上に資するとともに実動組織間の連携強化を図るため、より実践的な訓練を実施する。

- 実施主体：兵庫県、篠山市、丹波市
- 実施時期：平成29年9月3日（日）
- 参加機関：県、篠山市、丹波市、消防、警察、自衛隊、医療関係機関、自主防災組織 等
- 負担割合：県1/2、市1/2
- 訓練内容：救出・救助訓練、応急救護所設置・運営訓練 等

◆ 兵庫県住宅再建共済制度の普及促進 〔企画県民部・全県事業〕

被災者の生活基盤の早期回復と被災地域の早期復興に寄与する相互扶助の仕組みである兵庫県住宅再建共済制度のさらなる普及を図るため、加入促進の取組をより一層推進する。

(1) 兵庫県住宅再建共済制度の運営

(2) 兵庫県住宅再建共済制度の加入促進に向けた取組の実施

- 防災士会等の防災関係団体、市町等と連携し、防災訓練、地域行事でのPR、出前受付等による普及啓発を推進
- インターネットサービスを活用したアプローチの展開や、損害保険会社と連携した地震保険とフェニックス共済のセット加入を促進
- 加入促進員の配置 10 名

2 丹波の田んぼダム普及推進事業 1,400 千円〔篠山土地改良事務所〕

総合治水対策（流域対策）の一環である「水田を活用した雨水貯留（田んぼダム）」の啓発・普及と取組を拡大することにより、地域の防災機能向上を図る。

(1) 啓発事業

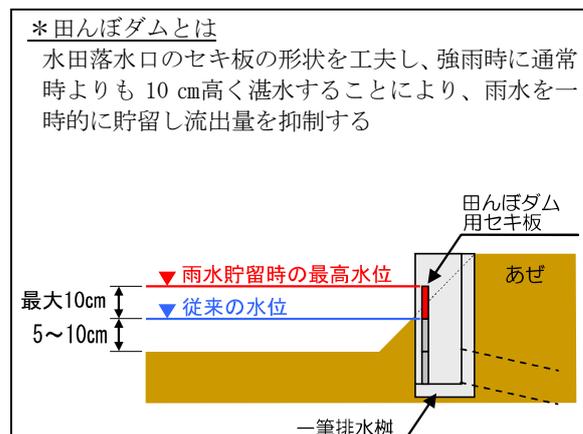
- 田んぼダム講習会の開催

(2) セキ板配布支援

丹波産間伐材のセキ板を製作、配布

(3) 一筆排水樹設置支援

- 事業主体：集落等
- 支援内容：
 - ① 工事発注指導（設置工事の仕様提示、発注・契約のための助言）
 - ② 設置工事支援（一筆排水樹設置、畦畔補強等工事経費補助）



◆ 平成 26 年 8 月丹波市豪雨災害復旧記念式典の開催

〔丹波農林振興事務所、丹波土木事務所・全県事業〕

平成 26 年 8 月丹波市豪雨災害の復旧について、県・丹波市が連携して取り組んだ砂防、河川、道路、治山、農地などの復旧工事が順調に進捗し、復興に向けての基盤整備が整った。このことから関係者への感謝の意を表すとともに、心つなぐ創造的復興に向けて、さらに住民意識の高揚、一体感を醸成することを目的に復旧記念式典を開催する。

- 開催予定日：平成 29 年 6 月 3 日（土）
- 開催予定場所：丹波市立ライブピアいちじま（丹波市市島町）

3 **新** 平成 26 年 8 月豪雨災害からの復興推進支援事業 14,000 千円〔丹波土木事務所〕

平成 26 年 8 月の丹波豪雨災害からの地域の復興を推進するため、山間部の道の整備などを行う。また、公共土木施設等の被災から復旧までの道のりを記録し、災害の教訓や記憶を風化させずに継承するため、災害記録誌を作成する。

(1) 地域の復興活動を支援する道等の整備

- 県道沼市島線の山間部交通不能区間の倒木除去、路面路肩整備、他

(2) 豪雨災害からの復旧・復興の記録誌作成

◆ 第 2 次山地防災・土砂災害対策 5 箇年計画の推進〔農政環境部、県土整備部・全県事業〕

平成 26 年 8 月豪雨災害の教訓を踏まえ、治山ダムや砂防えん堤等の重点整備、災害に強い森づくりによる山地防災・土砂災害対策を強力に推進する。

- 治山事業、緊急防災林整備事業、砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業の実施

◆ 県民緑税を活用した災害に強い森づくりの推進

〔農政環境部・全県事業〕

(1) 緊急防災林整備事業

危険渓流域の森林を対象に、渓流沿いの危険木の除去や災害緩衝林の造成、間伐木を利用した土留工の設置等を実施

(2) 針葉樹林と広葉樹林の混交整備事業

樹種、樹齢が異なる水土保持能力の高い森林をつくるため、県民緑税を活用し、高齢人工林を部分伐採し、その跡地へ広葉樹の植栽等を支援

(3) 里山防災林整備事業

集落裏山にある里山林の山地災害防止機能向上のため、県民緑税を活用し、危険木伐採などの森林整備や簡易な防災施設の整備を実施

(4) 野生動物共生林整備事業

野生動物との棲み分けを図る緩衝地帯(バッファゾーン)を設置するとともに、公益的機能の低下した広葉樹林を整備し、野生動物の生息環境を整備

(5) 住民参画型森林整備事業

参画と協働による災害に強い森づくりを促進するため、県民緑税を活用し、地域住民やボランティア等による自発的な森林整備活動を支援

(6) 広葉樹林化促進パイロット事業(災害に強い森づくり)の実施

森林の公益的機能を発揮し、野生動物の生息環境保全に配慮した森林へ誘導するため、伐採の進まない高齢人工林を伐採し、広葉樹林化を促進

ii 砂防防災フロンティアエリア（仮称）の整備

1 新 復興砂防公園整備事業

平成26年8月の丹波豪雨災害で甚大な被害があった市島町前山地区を「砂防防災フロンティアエリア（仮称）」として位置づけ、土砂災害の経験と教訓の継承・発信、防災学習の拠点として、丹波市が取り組む復興砂防公園（仮称）の整備を支援する。

- 支援内容：防災学習に資する土石流立体模型の設置
- 整備箇所：丹波市市島町徳尾地内

5,000千円〔丹波土木事務所〕



復興砂防公園（仮称）イメージ図

iii 暮らしの安全安心の向上

1 拡 住民主体の介護予防・介護支援推進事業

2,873千円〔丹波健康福祉事務所〕

丹波地域で安心して高齢期を迎えられる地域づくりを推進するため、地域住民が自ら主体となって運営し、健康づくりを継続的に実践していく仕組みを構築するとともに、地域住民による介護力の底上げを図る。

(1) 「いきいき百歳体操」等地域拡大支援事業

- 市が実施する普及啓発及び地域リーダー養成研修会等への支援
- 「いきいき百歳体操」等新規実施団体への支援

(2) 「いきいき百歳体操」等地域定着支援事業

- 圏域交流会の開催
- リハビリ専門職員の派遣

(3) 「丹波地域介護支援サポーター」養成事業

- 介護支援サポーター養成講座の開催
対象：高校生、住民 等

(4) 丹波地域版「お口の元気アップ」事業

- 「お口の元気アップ体操」DVD制作及び普及啓発



住民主体の介護予防（体操）

◆ 認知症疾患医療センターの運営

〔健康福祉部・全県事業〕

地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図るため、認知症疾患医療センターを設置する。

- 事業内容：専門医療相談、鑑別診断と初期対応、合併症・周辺症状への急性期対応等
- 設置場所：（丹波地域）医療法人敬愛会大塚病院

2 地域を守れ！たんば感染症予防プロジェクト推進事業 475千円〔丹波健康福祉事務所〕

インフルエンザやノロウイルス感染症等の感染症予防対策の研修を実施し、地域全体の感染症予防につなげるとともに、丹波地域における小児や高齢者の救急医療の軽減を図る。

(1) 集団施設職員のスキルアップ

(ア) 保育所等職員に対する研修

保育所等乳幼児施設特有の感染症についての研修を行う。

(イ) 学校サーベイランスシステムスキルアップ研修

各学校における感染症予防対策の取組状況について、国立感染症研究所職員、健康福祉事務所職員、学校医が評価し予防対策の効果を高める。

(ウ) 高齢者施設等職員に対する研修
高齢者施設特有の感染症や効果的な消毒方法等について研修を行う。

(エ) 院内感染対策地域ネットワーク連絡会
県立柏原病院の感染制御チームの協力を得て、丹波圏域の医療機関が連携し、感染防止の体制づくりやアウトブレイク時の相談、支援を行う。



保育所での感染症予防啓発

(2) 県民への情報提供

(ア) 感染症予防啓発事業

丹波市立看護専門学校との協働により「咳エチケット」「手洗い」の普及を図るとともに、紙芝居を電子化し保育所等での感染症予防対策に活用する。

(イ) 感染症情報の発信

3 地域医療を支える健康福祉ネットワーク推進事業 300千円〔丹波健康福祉事務所〕

地域住民の医療を大切にす取組により、不要不急の受診抑制などの成果が上がっていることから、住民と県立病院医師との交流会開催や啓発活動等を引き続き支援するとともに、平成31年度の新病院開院に向け、更なる地域医療への理解促進と活動の定着を図る。

(1) 住民の地域医療への理解促進

- 住民が医療の現状等について知る機会づくり
セミナーの開催、かかりつけ医啓発リーフレット等の作成・配布
- 医療を守る協働事業の実施
地域医療を支える活動（講演会、交流会、ボランティア活動等）への補助

(2) 医療を守る丹波会議全体会・幹事会の開催

地域医療への理解促進活動について協議、決定を行うとともに、新病院開院に向けた今後の活動のあり方について検討する。

◆ 小児救急医療相談窓口の運営 〔健康福祉部・全県事業〕

小児救急患者家族からの電話相談体制を整備する。

(1) 県下全域対象の小児救急医療相談（#8000）の実施

- 相談日時：毎夜間 18:00～24:00、休日昼間 9:00～18:00
- 対応者：医師、看護師

(2) 地域における相談窓口の設置

- 丹波地域：0795-72-4396

◆ 大学医学部への特別講座の設置 〔健康福祉部・全県事業〕

医師不足が深刻な地域医療機関を支援するため、診療活動を行いながら地域医療の充実に資する研究を行う寄附講座を大学医学部に設置する。

連携大学	講座数	研究拠点	設置期間
神戸大学	1	県立柏原病院	平成27年4月～ 平成32年3月
兵庫医科大学	2	兵庫医科大学 ささやま医療センター	平成21年4月～ 平成31年3月

◆ 県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編整備 〔病院局・全県事業〕

「県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編基本計画」に基づき、丹波圏域の中核病院として、急性期から回復期までの医療を提供する新病院を整備する。

- 場所：丹波市氷上町石生
- 延床面積：約26,400㎡

- 病 床 数：320 床（急性期 204 床、回復期リハビリテーション病床 45 床、地域包括ケア病床 45 床、緩和ケア病床 22 床、感染症 4 床）
- 供用開始：平成 31 年度上期（予定）
- 事業期間：平成 26～30 年度
- 総事業費：20,185 百万円
- 平成 29 年度：建設工事、機器整備
- そ の 他：同一敷地内に、丹波市が市地域医療総合支援センター（仮称）及び市立看護専門学校を整備予定

◆ **兵庫医科大学ささやま医療センターに対する総合的な支援**〔健康福祉部・全県事業〕
丹波地域の中核的な医療機関である兵庫医科大学ささやま医療センターに対して総合的な運営支援等を実施する。（事業費：61 百万円）

- 兵庫医科大学ささやま医療センターの建替整備費に対する助成
- 特別講座の開設（再掲）

4 **たんばの消費者力向上推進事業** 300 千円〔県民交流室〕

高齢者、障害者、学生等の消費弱者への消費者力向上と消費弱者を見守る者への相談対応能力向上を推進するため、出前講座を開催し、丹波地域における消費者被害の防止を図り、これにより地域の支え合いによる安全安心社会の実現を推進する。

〔テーマ設定例〕

- 丹波地域で発生している悪質商法
- 高齢者が遭いやすい契約トラブル
- インターネットトラブルについて 等

iv **魅力あるふるさとづくり**

1 **新 丹波の森構想 30 周年記念事業** 450 千円〔県民交流室〕

丹波における地域づくりの指針である「丹波の森構想」の策定から平成 30 年で 30 周年の節目を迎える。記念事業の実施に向けて、学識経験者等を構成員とする検討委員会により、地元活動グループの意見も聴きながら、これまでの成果と課題を踏まえ、将来に向けた地域づくりを展望する。

〔事業例〕

- 「丹波の森構想 30 周年シンポジウム（仮称）」（平成 30 年秋開催予定）

2 **“ふるさと丹波”まちの自慢発信事業** 180 千円〔県民交流室〕

地域創生を持続的に進めるためには、生まれ育った地域に愛着や誇りを持つふるさと意識の高い人材を育成することが重要であることから、現在小学校で行われているふるさと学習の成果を広く地域内外に発信し、児童生徒のふるさと意識の醸成と地域の魅力発信を図る。

- 篠山市、丹波市でそれぞれ対象校を指定
- 地元の自然環境・歴史・文化・特産物についてふるさと学習を実施
- ふるさと学習の成果のとりまとめ学習成果を発信

〔発信の形式例〕

- 「たんばっ子！学びフェスタ」で発表
- パンフレット等の作成・配布（管内全公立学校へ配布）
- 報道関係者への発表 等



「まちの自慢」パンフレット

3 不法投棄をさせない！きれいな丹波づくり推進事業 892 千円〔県民交流室〕

事業を開始した平成 25 年度以降、管内では 10 トン以上の不法投棄が発生していない等の効果が上がっていることから、引き続き地元業者及び住民との連携を深め、豊かな生活環境の実現を推進する。

(1) 不法投棄防止講習会の開催

建設業者等を対象に法令等の周知、検挙事例の紹介等法令遵守の徹底を図る。

(2) 不法投棄防止協力事業所及びボランティア不法投棄監視員の積極的活用

- 不法投棄防止協力事業所：105 事業所
- ボランティア不法投棄監視員：平成 28 年度 22 名に委嘱、任期 2 年

(3) 監視カメラによる監視の継続

4 丹波の環境パートナーシップづくり事業 950 千円〔県民交流室〕

行政、環境保全団体等で構成する「丹波地域環境パートナーシップ会議」の活動を活発化させ、ホトケドジョウやバイカモなど丹波地域に生息する貴重な動植物の保全・再生意識の高揚、環境学習の推進を図る。

(1) 住情報誌・フェイスブックの活用等による情報発信、交流促進

(2) 住民参加型フォーラム 2017 の開催

- 開催時期：平成 29 年秋

(3) 環境学習プログラムの提供

丹波地域の森・川を活かした環境学習プログラムの PR・提供を行う。

(4) 「守ろう！丹波の自然」体験型エコツアーの開催

- 開催時期：平成 29 年秋頃



体験型エコツアー

◆ シカ捕獲総合対策の実施 〔農政環境部・全県事業〕

農林業被害を軽減するため、広域的なシカ捕獲対策を実施する。(年間捕獲総目標数 45,000 頭)

(1) シカ有害捕獲促進支援事業

シカの分布拡大防止等のための一斉捕獲を広域的に実施

(2) 狩猟期シカ捕獲拡大事業

狩猟期間中のシカ捕獲に対し、捕獲頭数に応じた報償金を支給

(3) 市町による有害鳥獣捕獲

農林業被害の防止に向けた市町による捕獲

◆ 鳥獣被害の防止対策に取り組む市町への支援 〔農政環境部・全県事業〕

鳥獣による農作物等の被害防止を強化するため、総合的な対策を実施する。

(1) 鳥獣被害防止総合対策事業

市町が作成する被害防止計画に基づく個体数調整、被害防除等の取組を総合的に支援する。

区 分	事業内容
ソフト対策	<ul style="list-style-type: none"> • 地域ぐるみの被害防止活動 生息調査、捕獲機材の導入、追い払い、専門人材育成、緩衝帯整備 等 • 有害捕獲
ハード対策	被害防止施設 (侵入防護柵等)、処理加工施設

(2) 野生動物防護柵集落連携設置事業

国の鳥獣被害防止総合対策事業が活用困難な防護柵の復旧等について支援する。

5 交流促進パワーアップ事業

4,000千円〔県民交流室〕

都市と丹波地域との交流による田舎暮らしの実践、少子対策の取組や環境保全活動など、地域団体等による主体的な活動を支援し、魅力ある丹波づくりを推進する。

- 事業主体：こころ豊かな美しい丹波地域推進会議
- 助成対象団体：丹波地域内の地域団体等
- 補助額等

区 分	事業内容	補助額等
特定テーマ枠事業	都市との交流、子育て支援、健康づくり、介護予防	50万円以内、定額補助
一般枠事業	上記以外の地域活性化事業	50万円以内、2/3補助

6 丹波の森若者塾

740千円〔県民交流室〕

管内の高校生が、丹波地域に活動拠点を持つ大学の教員及び大学生のサポートを受けながら、自身の力でふるさとの魅力を発見できる研究・体験・交流活動を支援する。

- 協力大学（予定）：
関西大学、関西学院大学、神戸大学

〔テーマ例〕

- 篠山の特産物を使った商品開発
- 丹波地域在住外国人との交流、支援
- 地域行事への参加を通し、地域活性化に貢献し得る活動について学ぶ 等



丹波地域在住外国人による外国料理教室
柏原高等学校・関西学院大学

7 シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」支援事業

370千円〔県民交流室〕

音楽を通じた地域住民の交流の拡大を図り、子ども達と家族、地域住民等が音楽家等とふれあい、音楽を楽しむ取組を支援する。

また、出演者には丹波出身の若手音楽家等を起用し、育成を図る。

- 実施場所：学校施設等を活用し、丹波地域10カ所程度で開催
- 実施内容：丹波地域出身の若手音楽家等による演奏、音楽講話、音楽体験（楽器の仕組み、楽器の役割、演奏指導、音楽の楽しみ方等）
- 事業主体：丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば実行委員会

◆ 多自然地域の再生

〔県民交流室・全県事業〕

地域の活力が失われつつある多自然地域を中心に、地域の自主的・主体的な取組による賑わい創造や活性化、農業振興、定住等を促進するための総合的な施策を展開する。

(1) 集落再生支援事業

(2) 「がんばる地域」応援事業

- 戦略的移住推進モデル事業
- 広域的地域運営組織の支援
- 「がんばる地域」交流・自立応援事業
- 地域おこし協力隊等起業化モデル事業
- 田舎に帰ろうプロジェクト
- ふるさとにぎわい拠点の整備
- 中山間“農の再生”推進対策
- 地域創生会社設立・運営への支援
- 大学等との連携による地域創生拠点形成への支援

(3) 地域再生促進事業

- 多自然地域アンテナショップの運営支援
- まちむら元気交流会の開催
- ひょうご地域再生塾の開催